



湾岸センターの一角にある撮影事業室

毎日 EC サイト用にアパレル・ファッション関連の商品の撮影を行っています。天井も高く、スペースも十分にある倉庫は撮影スタジオにも最適な環境です。実際にスタジオにお邪魔し、どんなお仕事をしているのかをレポートしてきました。

オーティーエスが撮影事業を行う必然性

EC 用の商品撮影を行う際は物流倉庫から撮影会社に商品を出荷し、撮影後に倉庫に戻すという流れが通常かと思えます。でもでも、せっかく物が倉庫にあるのだからそのまま倉庫内で撮影できてしまえば、販売までのリードタイムが短縮でき、無駄な輸送のコストも削減できると思いませんか。そんな思いでオーティーエスの撮影事業は始まったんです！

topic

マニュアル設定で写真を撮りま専科！？

今やカメラ＝スマホの時代。一眼レフどころがコンデジすら持っていない方がほとんどではないでしょうか。これほどまでに皆が写真を撮りまくるご時世に、いわゆる『カメラ』は売れないという不思議な状況になっています。

そんな今だからこそ一眼レフカメラで！マニュアル設定で！撮影してみませんか？

それなりのカメラをお持ちの方でもマニュアルってなに？使ったことないという方は多いかもしれません。

Photograph の語源はラテン語で「photo=光」「graph=画」からきています。つまり写真の本質とは光をいかにレンズを通してフィルム（今は CMOS センサー）に当てるかに他ならないのです。カメラにおいて光の量を決定するのは「絞り」「シャッタースピード」「ISO 感度」という三つの要素の組み合わせになります。

マニュアルモードはそのすべてを自分で決定し、自分の好みの光の画を作り出す論理的思考と芸術的思慮を要求するハイソで大人な趣味なんですよ。



▲モードダイヤルの「M」がマニュアル

撮りかたによって与える印象は大きく変わる

普段どんな撮影を行っているのか聞いたところ、一番多いのはアパレルのハンガー撮影とのこと。撮影する側としても最も撮影しやすい方法ではありますが、商品の見え方は撮影方法によって大きく印象が変わってくるので、商品の特性や各社のブランドイメージ・戦略に合わせて撮影方法をお選びいただければとスタジオ担当者は語っていました。

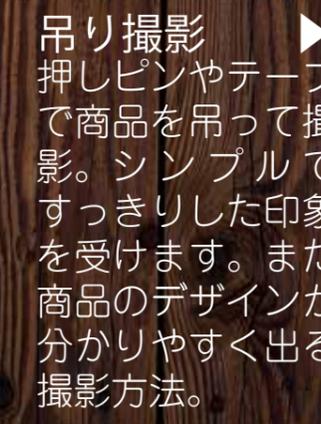
そこまで言うのならと代表的な撮影方法で、同じ商品を撮影してもらいました。



◀ハンガー撮影
文字通りハンガーにかけた状態で撮影します。家やお店で最も目にする形なので自然な印象を受けます。



◀平置き撮影
商品を平置きした状態で俯瞰から撮影します。素材からくる自然なシワ感を出したり、ポーズをとらせることができます。



▶吊り撮影
押しピンやテープで商品を吊って撮影。シンプルでスッキリした印象を受けます。また商品のデザインが分かりやすく出る撮影方法。



▶トルソー撮影
実際の着用感に近い形で商品を見せることができます。モデル撮影と違いモデルのカラーも出ないので着用のイメージがしやすいです。



確かに同じ商品なのに、撮影方法が違うだけで印象は全く違いますね。

どれもそれぞれ利点があって選ぶのが難しそうですね。撮影事業室では撮影方法や見せ方のご相談はいつでも大歓迎だそうです。今回の撮影方法のサンプル画像撮影をお願いした時も「商品撮影の理解が深まるならば！」と嬉々として撮影していました。写真好きのスタッフの連絡先を最後に記載しておきますので、皆様の会社で EC の撮影にお困りのようでしたらぜひご連絡ください。

なんだか楽し気な職場でした。

取材に行った日はちょうどモデル撮影が行われている日で、キラキラしたモデルさんがいらっしやいました。物流倉庫にモデルさんという mismatch が何とも新鮮で、取材のことはすっかり忘れて完全なヤジウマ根性で見学させてもらいました。OpenTalks! を通じてオーティーエスの様々な仕事に触れるたびに「同じ会社でもいろいろな仕事があるのだなあ」と改めて思い知らされました。

撮影のご用命は…

オーティーエス撮影事業室まで

お電話 080-3589-9550
e-mail h-kanemitsu@e-ots.co.jp
担当者 金光（カネミツ）

